

「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会 第4回スタッフ会議報告

【日 時】 2009年2月14日(土) 午後1時40分～4時30分

【場 所】 大阪自然環境保全協会事務所

【出席者】 布谷(滋賀)、武田・鈴木(兵庫)、伊東・高島・木村・横山(大阪)・今村(京都)、久保田(奈良)

【司 会】 高島(大阪自然環境保全協会) 【記 録】 木村(同)

【案 件】

(1) 前回の報告(別紙、第3回スタッフ会議2008.12.6参照)

- ① 「タンポポ調査・西日本2010」の調査体制について
- ② 「タンポポ調査・西日本2010」の調査方法について……検討事項
 - ・調査地点の表し方について、緯度・経度か、「メッシュコード」のいずれかを記載。
 - ・雑種タンポポの解析の体制…前回と同様に、大阪市大(伊東・名波先生)にお願いする。
- ③ 予備調査実施要項・サンプル処理マニュアルの検討…課題：緯度経度の調べ方

(2) 予備調査説明会について

① 調査説明会(一般参加者向け、於、長居公園・大阪市立自然史博物館)

1) 日時 2009年3月1日(日)10:00～12:00(雨天決行,参加費無料)

2) 集合 午前10時「長居植物園入口」(植物園には入場しません)

3) 日程と内容

9:30～ 集合場所で受付開始(参加者カード配布記入…弁当注文も)

10:00～ 開会のあいさつ(布谷)・諸連絡(高島)

10:10～ タンポポウォーキングータンポポ(外来種のみ)を探して植物観察。調査方法やタンポポの見分け方・調査用紙への記入方法を説明

*雨天時は、すぐに博物館内へ移動し、説明会を行う。

10:40～ 博物館内集会室へ移動、調査方法の概要の説明(木村)+緯度・経度・メッシュコード検索の演示(佐久間)・

11:30～ 質疑応答・午後の連絡(12:00までには解散予定)

*役割分担

・9:00 スタッフ集合、受付・弁当購入(横山ほか) ・司会・進行(高島)

・参加者カード(横山)・調査用紙・振込用紙・実施要項(木村)…各50枚ずつ、筆記用具・ティッシュペーパー・ハサミ・セロテープ・古封筒など(木村)

*昼食：集合時点で注文をとって、実行委員会で手配する(外へ食べに行く余裕はない)

② 公開セミナー(KONCとタンポポ実行委員会、自然史博物館の共催事業)

1) 日 時 2009年3月1日(日)13:00～14:20

2) 場 所 大阪市立自然史博物館・講堂

*会員は無料(博物館職員通用口からタンポポの講演会参加と申し出て入館し、博物館内の講堂に12時40分までに集合)、一般は入館料必要。

3) 日程と内容

12:40～ 受付(KONCで担当)

13:00～ 講演会開始

講演：「タンポポ戦争の最大の武器？—セイヨウ対カンサイ花粉合戦—」

講師：高倉耕一氏(大阪市立環境科学研究所)

14:00～ ・講演に対するコメント：鈴木 武(兵庫県立人と自然の博物館)

・質疑応答

14:20 終了予定

*役割分担（なし、KONCが担当）

*終了後、KONCは、そのまま講堂に残り、タンポポ調査実行委員は実習室へ移動

③ タンポポ調査実行委員会と識別講習会

1) 日 時 3月1日(日)14:30~17:00

*参加者は自分で観察したい頭花のサンプルを持ってきてください。

2) 場 所 大阪市立自然史博物館実習室

*ここから参加する方は、博物館職員通用口からタンポポの講習会参加と申し出て入館。

3) 日 程

14:30~14:40 開会のあいさつと講習会の趣旨説明（布谷）

14:40~15:30 第2回実行委員会

・取り組みの経過報告(事務局：木村)

・各府県の現状の紹介（参加府県）

・今後の予定の確認（木村）

15:30 ~16:30 識別講習会

・サンプル処理マニュアル・データ入力の説明（木村）

・外来種と在来種の識別・在来種の同定・花粉の顕微鏡観察実習（鈴木）

・雑種タンポポの解析について（伊東）

16:30~17:00 質疑応答、解散

*役割分担

司会（高畠）、受付（横山ほか）、機材準備（佐久間氏）、識別のためのサンプル準備（参加者・木村・鈴木）、マニュアル・調査報告書(木村)

(3) 調査用紙のゲラ（別紙）の最終確認・・・本日の検討結果をもとに印刷にはいる

① 本日の検討結果をもとに修正→2月15日(日)までに最終確認→16日(月)に印刷に回す。→MLで流したり、HPにアップして利用可能にする。

② 主な変更点

1) 調査地点のあらわし方・・・今回は、「住所か目標物」に加えて、可能な限り「緯度・経度」または「メッシュコード」を記入してもらう。それにともなって、緯度・経度の調べ方についてもやや詳しく記載する（国土地理院HPなどより検索）。

2) 4. タンポポの種類 で、3. 花は白色(シロバナタンポポ)とあるが、白色にはキビシロタンポポも含まれるので、3. 花は白色(シロバナタンポポなど)と変更する。

3) 大量に調査する個人への対応→封筒を作らなくても、記録欄(A4判1枚のみ)だけを印刷し、小袋の変わりに普通の封筒にタネとティッシュに包んだ頭花とを入れて、ホッチキスで調査用紙に貼り付けるだけでもよいと明記する。ホームページから記録欄だけをダウンロードできるようにしておく。

4) 参加する18府県名を記載する。

③ 調査用紙(A3判両面モノクロ印刷)の印刷枚数

・印刷の版組の都合もあり、今回の予算(30万円)では、各府県別宛名・送料込みで20000枚が限度。そこで、下記のようにしたい。

* 大阪府・兵庫県=1500枚、その他の府県(広島県を除く)=1000枚×15=15000枚、宛名なし=広島分1000枚+1000枚

* 不足分は各府県でコピー・印刷して下さい。この場合、B4判でも結構です。

また、HPよりダウンロードすることもできます。HPでは実物大でA4判4枚での出力と、70%縮小でA4判2枚で出力可能なようにしておく。

(4) 調査委員会の会計・予算について

① 前回の残金：現時点では「約20万円弱」。

なお、大阪市大の伊東・名波氏より、タンポポ調査の研究で受賞した「四手井賞」の賞金(5万円)を寄付、調査用紙印刷費用も出していただいた。感謝致します。

② 予算の見積もり

・本調査を含めた必要金額として、2005年の近畿の調査では7府県で約350万円の助成金を使ったので、今回は約500万円必要だろう。前回同様に、助成金などを獲得する必要がある。すでに申請したものはだめだったので、環境関係の助成機関をリストアップし、今後、書類を取り寄せて申請していく。(担当：木村・布谷)

*各府県実行委員会独自で助成金などを申請していただいてもかまいません。(むしろ、どんどん出してください。)

③ 助成団体の選択

前回調査時の助成団体	金額	担当	今回の可能性・新規	締切り	担当
1 日野自動車	45万	布谷	同一団体が可能か?	7/末	
2 タカラハーモニクス	50万	木村	同じ団体は資格なし	3/末	
3 NACS-J	80万	木村	再申請が可能か?		
4 河川環境管理財団	175万	伊東	1件200万まで、	9/末	
新規助成団体	締切り	金額	申請	結果	備考
5 富士グリーンファンド	5/19	365万	木村	否	競争率高い
6 地球環境基金	1/25('08)	平均400万			
7 イオン財団	8/31('07)	総額1億			
8 セブンイレブン	1/31	上限360万			2~3年間
9 ニッセイ財団	4/14('08)	平均200万			総額4000万,研究

(5) 各府県別の参加状況と事務局 (事務局で把握しているもの。追加を連絡下さい)

番	府県名	事務局・封筒あて先	代表	実行委員
18	福井	ウェットランド中池見	横山	田代・笹木智・笹木進・河端
24	三重	三重県民の森	川村	木原
近畿地方	25	滋賀 琵琶湖博物館	布谷	前田・芦谷
	26	京都 京都学園大学	村田	今村
	27	大阪 大阪自然環境保全協会	佐藤	佐久間・高島・木村・神田・有川・佃 ・名波・宮田・斎田・富・横山
			伊東	
	28	兵庫 県立人と自然の博物館	鈴木 武田	奈島・工・阪口・岩本
	29	奈良 奈良自然観察会(久保田)	久保田	河合
	30	和歌山 県立自然博物館	内藤	高須
中国地方	31	鳥取 県立博物館	清末	有川
	32	島根 三瓶自然館	井上	
	33	岡山 倉敷市立自然史博物館	狩山	榎本・坂本・地職・片岡
	34	広島 広島県高等学校教育研究会理科部会生物部	平山	吉野
	35	山口 山口県植物研究会	真崎博	真崎久
四国地方	36	徳島 県立博物館	小川	
	37	香川 香川大学・教育学部	末広	新居・久米・福家・縄田・北川
	38	愛媛 松山東雲短大	松井	小林・橋越
	39	高知 県立牧野植物園	藤川	田中・和倉・堤原
九州	40	福岡 九州大学総合研究博物館	三島	真鍋

(6) そのほかの検討事項

- ① 「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会のホームページについて（横山氏）
- ・事務局である大阪自然環境保全協会のHP内におく。管理は引き続き横山恵子さん・佐藤治雄氏(大阪自然環境保全協会)にお願いする。今後、2005年調査のHPで必要な内容を、2010へ移行させ、2005のHPが閉じる。

*今後充実すべき内容

- ・調査実施要項・サンプル処理マニュアルをアップする
- ・緯度経度・メッシュ番号の調べ方
- ・メーリングリストへの登録方法
- ・各府県別ページへの登録・・・メーリングリストで連絡→横山さんが取上げる。
- ・Q&Aコーナー(前回のものを移行させる)
- ・写真

- ② メーリングリストについて（村田氏）

- ・実行委員を中心のメーリングリスト（2008.5.31 から運用開始）
- ・一般用のメーリングリスト（2009.2.4 から運用開始）

*登録メンバーの拡大・・・一般用については、HPで登録の紹介を行い、そこから入れば登録が可能となるようにする。現在は、あまり活用されていないので、実行委員は積極的に情報を流してください。

- ③ (名義)後援団体について

- ・環境省・文部科学省・日本環境教育学会・西日本自然史系博物館・日本自然保護協会の全国的な5つの組織に対しては、事務局から近々依頼する(予備調査・本調査の2年分まとめて可能か)。各府県や教育委員会などについては、必要に応じて各府県の実行委員会から依頼してほしい。なお、依頼文書の文案は事務局で作成したものを利用することが可能ですので、必要な場合はご連絡ください。

(7) 今後のスケジュール

2009年	2月14日(土)	第4回スタッフ会議
	3月1日(日)	第2回実行委員会、兼現地説明会・講習会
	3月～4月	各府県・ブロックでの説明会・講習会の開催
	3月～5月	予備調査の実施→調査用紙回収
	5月～6月	調査用紙・サンプルの処理・花粉観察・データ入力
	6月27日(土)	第5回スタッフ会議・サンプル処理講習会
	7月17日(金)	データ入力締切り
	7月～8月	予備調査結果の解析→中間報告書の作成(～12月)
	8月29日(土)	第6回スタッフ会議(一部のデータ速報可能か?)
	11～12月	第3回実行委員会(本調査に向けて)
	～12月末まで	本調査時の事務局の確定と調査用紙の印刷
2010年	2月～3月	第4回実行委員会、兼現地説明会・講習会
	3月～5月	本調査の実施
	6～12月	本調査結果の解析(西日本全体・各府県別)
2011年	3月まで	最終報告書の作成

<当面の予定>

- ① 調査用紙印刷・発送・・・ 2月下旬～3月上旬(現在の予定では2月24日ころ
発送予定→26～27日ころに届くと思います)
- ② 第2回実行委員会・識別講習会など・・・3月1日(日)→上記
- ③ 第5回スタッフ会議 兼 サンプル検討会
 - ・日 時：6月27日(土) 13:00～16:00
 - ・場 所：兵庫県で開催(可能なら神戸大学の予定)
- ④ 第6回スタッフ会議
 - ・日 時：8月29日(土) 13:30～16:30
 - ・場 所：大阪自然環境保全協会
- ⑤ 3～4月の予備調査前か調査前半に、3月1日の説明会の内容を各地域に伝達して、調査参加者を増やすために、各ブロック・各府県で調査説明会や講習会を開催してください。必要に応じて、前回の結果をまとめたカラーチラシや、調査実施要項などをお送りします。また、依頼があれば講師として近畿のメンバーが参加。

*決定されている府県があれば下記のような形で紹介下さい→ML・HPへ

例) 大阪府調査実行委員会 「タンポポ調査2010」大阪説明会と花粉観察 ・2009年 3月28日(土)13:00～16:00 参加無料 ・13:00 地下鉄「緑地公園」改札前広場 ・内容 (1) タンポポ調査野外実習(服部緑地公園) (2) 「タンポポ調査」の取り組み内容説明(都市緑化植物園研修室) (3) タンポポ花粉観察(同上) (4) その他

*現在把握している説明会の予定・・・詳細はHPを参照ください。また、すべての府県で開催できませんので、近隣の他府県からの参加者も受け入れて下さい。

- ・3月15日(日) 滋賀県(於 琵琶湖博物館)
- ・3月28日(土) 大阪府(於 豊中市 服部緑地公園)
- ・4月19日(日) 四国ブロック(於 徳島県立博物館)
- ・4月19日(日) 和歌山県(於 和歌山県立自然博物館)
- ・4月 ? 日() 中国ブロックでも開催を検討中

- | |
|--|
| *次回会議までにしておくべき課題と担当者
1. 調査用紙の印刷・発送(事務局・荻野→伊東→各府県事務局へ)
2. タンポポ調査2010の呼びかけ・実行委員の拡大募集
3. メーリングリストの拡充(村田)←事務局・実行委員の把握(高島)
4. 調査実施要項とサンプル処理マニュアルの完成・印刷(木村)
5. 緯度・経度・メッシュ番号の調べ方をまとめる(鈴木)
6. 助成金の検討と申請書の作成(木村・布谷)
7. 全国組織の後援名義申請書の作成・発送(高島・木村)
8. 3月1日の説明会・実行委員会に向けての準備(各担当者) |
|--|